marketpress.jp
証券市場新聞
1　第68号
2017
3/6
月曜日
発行元　ココ・パートナーズ株式会社
〒542-0081　大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F
TEL 06-6105-1904　FAX 06-7635-7861
marketpress.jp

日経平均株価
１万９４６９円１７銭
▼９５円６３銭（前日比）
ＴＯＰＩＸ
１５５８．０５
▼６．６４（前日比）

初値形成後も話題を集める

3月は注目銘柄のIPOラッシュ

輸出系を中心に東証１部の主力株が為替の動きと連動して株価の上下動を繰り返すなかで、外部環境に左右されず我が道歩んでいるのが東証マザーズやジャスダック市場を中心とする新興銘柄だ。両指数とも日経平均の上値の重さとは裏腹に高値を更新、２月相場ではその中でひと際輝いていたのが新規公開（ＩＰＯ）銘柄だ。３月はかねてより上場が噂されていた銘柄群が上場を果たすことから初値形成後も話題を集めることになりそうだ。

レノバやU&Cに続く銘柄は？

主力株はトランプ大統領の発言やＮＹ市場、為替の動向にほぼ左右される動きとなっているが、外部環境に関係なくその企業の個別の業績や需給関係だけで株価が変動する新興銘柄に個人投資家の資金が集中している。その中で特に活況を呈しているのがＩＰＯで、２月23日に上場した**レノバ**（９５１９）は公開価格７５０円を50％上回る１１２５円で初値を形成しその後、27日には２０９０円まで急騰。同じく23日に上場の**ユナイテッド&コレクティブ**（３５５７）も上場２日目に公開価格１６２０円の２・８倍となる４５００円で初値を形成、その後は28日に６９９０円まで急騰した。この２銘柄とも初値形成後に購入しても大きな利益を得ることが可能だったことから、個別で事情は異なるものの、３月に上場する銘柄への期待も高まることになりそうだ。

３月は７日にマザーズへ上場する**ロコンド**（３５５８）を皮切りに22銘柄が上場。その中でまずは16日にジャスダック市場へ上場する**ほぼ日**（３５６０）が注目される。コピーライターの糸井重里氏の経営で話題を集めており、初値形成後も強調な株価展開が続けば、他のＩＰＯにも好影響を与えそう。外食ではマザーズ市場へ21日に上場する**力の源ホールディングス**（３５６１）ラーメン専門店「一風堂」は東京や大阪など都心部でも根強いファンが多く、昨年９月に上場した串カツ田中同様に上場後も幾度となく物色される期待がある。

3月は22社が東証へ上場する

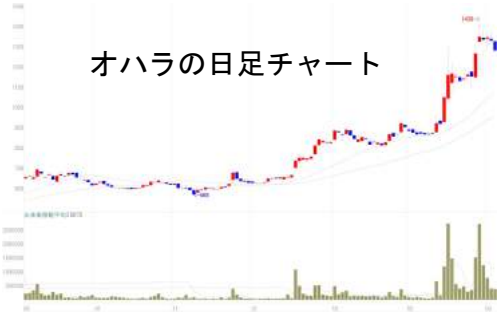
日経平均日足チャート

今週の動意銘柄

オハラは急騰し高値

国際二次電池展出展を材料視

週明け27日、**オハラ**（5218）が急騰、昨年来高値を更新した。3月1日から場東京ビッグサイトで開催される第8回国際二次電池展に出展することが材料視された。革新電池の研究開発に貢献するリチウムイオン伝導性ガラスセラミックス「LICGC」を出展する予定で、次世代電池の関連として注目された。



メディアドゥはS高

出版デジタル機構買収報道

28日、**メディアドゥ**（3678）がストップ高。日本経済新聞で「同業の出版デジタル機構（東京都千代田区）を買収する」と報じたことが材料視された。約80億円を投じて産業革新機構から約70%の株式を取得、書籍分野に強い出版デジタル機構を傘下に収めることで、取り扱う電子コンテンツの幅を広げるとしている。

モルフォ課徴金勧告

27日、**モルフォ**（3653）は急反落。24日、証券取引等監視委員会が同社役職員9名（うち従業員持株会会員7名）に課徴金納付命令の勧告を行ったと発表したことが嫌気された。

業務執行を決定する機関が**デンソー**（6902）と業務提携することについて決定した重要事実を知りながら、公表される前に同社株式を買い付け、持分合計を得る違反があったとしている。

ナカヨ大幅下方修正

28日、**ナカヨ**（6715）が急落。17年3月期の連結業績予想を大幅に下方修正した。売上高204億円を185億円（前期比1・5%減）、営業利益10億700万円を2億800万円（同56・7%減）へ。期末一括配当を13円から10円（前期13円）に引き下げた。

石川製は軍事費拡大発言

28日、**石川製作所**（6208）が急騰。トランプ米大統領がホワイトハウスで州知事らと会談し、2018会計年度予算案について軍事費が「歴史的な拡大となる」と語ったと報じられたことから防衛関連として同社株に人気が集中した。

城南進研はS高

27日、**城南進学研究社**（4720）がストップ高で、昨年来高値を更新した。この日14時に株主優待制度の導入を発表したことが材料視された。毎年3月31日と9月30日現在の株主に対してそれぞれQUOカード500円分を贈呈する。

FDK新正極材料開発

28日、**FDK**（6955）がストップ高。富士通研究所と共同で、全固体リチウムイオン電池の正極材料として、高エネルギー密度を有する「ピロリン酸コバルトリチウム（Li2CoP2O7）」を開発したと発表したことが材料視された。この材料、技術については、3月1日から東京ビッグサイトで開催される「第8回国際二次電池展」で展示する。

Karmaの杖

建設や中小型株物色続く

3日の日経平均は午後にやや下げ幅を広げ95円安で引けました。米3月利上げ観測を背景に為替が目先の円安水準で推移したことが下値を支えたのでしょう。ただ、上にも下にも煮え切らない相場が続いています。

2日に発表された投資家別動向を見ると、2月第4週は外人が2週間連続小幅売り越しとなっており、日経平均は週間で48円高と小動きでした。杞憂に終わればいいのですが、2012年以降3月第2、第3週は外人売りに下落しているアノマリーを追記しておきます。

また、IMMの投機筋の円売りポジションは昨年2月のピークと9月のボトムのおよそ中間数値で、為替はどちらに動いてもおかしくありません。15日のFOMCに向け動きづらいなか、要人発言やニュース、経済指標による為替動向には引き続き注意が必要です。当面は建設や中小型物色が続くでしょう。

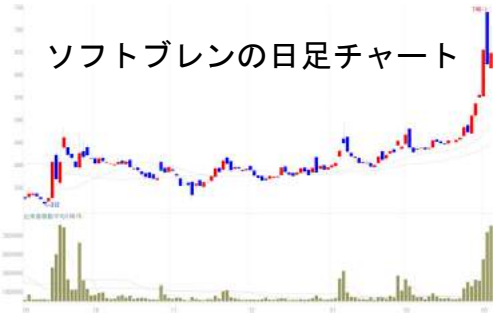
沙門 雲海

ソフトブレンS高

AI投資など今年度中に中計公表

ソフトブレン　1日、ソフトブレン（4779）はストップ高。グループの経営戦略や事業戦略の方向性を示すとともに、速やかに中期経営計画を策定し公表すると発表した。IoTを強化するとともに、AI技術へも積極的に投資、子会社ソフトブレーン・フィールドの株式上場などを目指すほか、中国やベトナムのみならず、今後も開発体制の拡充していくとしており、今年度中に中期計画を公表する。

ソフトブレンの日足チャート



浅沼組は公募増資

モロゾフ業績配当増額

1日、**モロゾフ**（2217）が続騰。17年1月期の単体業績予想を売上高で288億5000万円から291億6000万円（前期比1・7％増）へ、営業利益で16億4000万円から20億1000万円（同62・9％増）へ、純利益で10億円から12億2000万円（同59・5％増）へ上方修正、期末一括配当を4円から7円（前期4円）へ引き上げたことを材料視した。イベント商戦の好調に加え、焼菓子、半生菓子、チルドデザートなどが引き続き好調に推移している。

1日、**浅沼組**（1852）が急落。670万株の公募増資と100万株を上限とするオーバーアロットメントによる売出しを実施すると発表したことが嫌気された。

同時に17年3月期期末一括配当を6円から創業125周年記念配当2円を含めて10円（前期5円）へ引き上げると発表したが、増資による需給悪化や一株利益の希薄化懸念が台頭した。

栗田工は自社株買い

1日、**栗田工業**（6370）が急騰、昨年来高値を更新した。2月28日大引け後に自己株式取得枠の設定を発表したことが材料視された。上限400万株（発行済株式総数に対する割合3・45％）または100億円で、取得期間は3月2日から5月31日まで。

光世 × JPX 投資セミナー　in 大阪・北浜

かしこい投資家のための明日からできる投資戦略

「ETF（上場投資信託）まるわかり! 徹底活用術2017（日経ムック）」プレゼント！

3月18日（土）13:00～16:00（開場12：00）　参加料 無料　定員100名

講師

福永 博之氏
株式会社インベストラスト代表取締役

安藤 希氏
シンプレクス・インスティテュート

会場 光世証券本社ビル11階GTホール
（大阪市中央区2-1-10）

京阪電車・地下鉄 北浜駅 歩3分　淀屋橋駅 歩7分

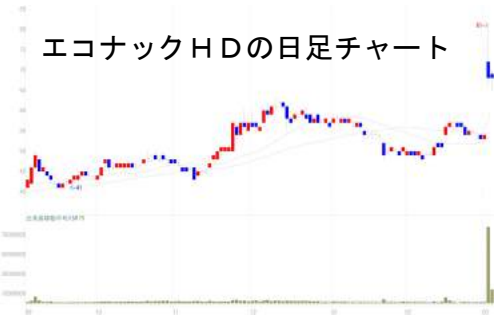
【お申込方法】

光世証券ホームページまたはお電話でお申込みください。
TEL：06－6209－0821
ホームページ：http://www.kosei.co.jp

エコナックHD急騰

17年3月期利益予想を上方修正

2日、**エコナックホールディングス**（3521）が急騰、昨年来高値を更新した。17年3月期の連結業績予想について、営業損益を4600万円の黒字から740万円の黒字（前期4億3900万円の赤字）へ、最終損益を100万円の黒字から2500万円の黒字（同4億840万円の赤字）へ上方修正したことが好感された。第3四半期までの営業実績を踏まえて利益を見直した。



メガバンクが高い

2日、**三菱UFJフィナンシャル・グループ**（8306）、**三井住友フィナンシャルグループ**（8316）、**みずほフィナンシャルグループ**（8411）のメガバンクが高い。早期利上げ観測を背景に米国長期金利が上昇、利ザヤ改善期待を手がかりにバンク・オブ・アメリカをはじめとした大手銀行株が軒並み高となっており、海外金融株高の流れが東京市場にも波及した。

昭電工は決算延期

2日、**昭和電工**（4004）は急反落、東証1部値下がり率トップに売られた。3月7日までに開示するとしていた16年12月期決算発表を再延期すると発表したことを嫌気した売りがかさんだ。

子会社の**昭光通商**（8090）が特定の顧客との取引に関して、代金決済は行われていたものの、取引の対象となる物品の実在性への疑義が高まり、取引の詳細と類似する取引の有無についてもさらに調査を行う必要が生じたため、追加的な監査手続気にさらに時間がかかるとしている。昭光通商も急反落しており、東証1部値下がり率2位となった。

あじかん3連騰で高値

2日、**あじかん**（2907）が3連騰、2月17日に付けた昨年来高値1934円を目指す動き。2月10日付では17年3月期の連結業績予想を売上高で411億円から412億円（前期比3・4％増）へ、営業利益で14億5000万円から15億5000万円（同3・4倍）へ、純利益で7億5000万円から11億円（同4・7倍）へ上方修正しており、これを再度評価する動きとなっている。

玉子焼類やごぼう茶などの自社工場製造製品が順調に推移しており、好財務内容も魅力。

保土谷化新値追い

週末3日、**保土谷化学工業**（4112）は続騰、連日で昨年来高値を更新した。本格的な需要期を迎える有機EL材料の正孔輸送材や発光材料を手掛け、今後の成長期待を織り込む動き。17年3月期は連結営業利益14億円（前期比69・1％増）と足もとの収益も急拡大しており、信用倍率、貸借倍率とも0・62倍で、買戻しも株価を押上げている。

ビリングシスはS高

3日、**ビリングシステム**（3623）がストップ高。**イオンディライト**（9787）と協業でシンクライアント型決済リーダーソリューションを飲料自動販売機に導入することを発表した。飲料自動販売機向で初めての電子マネーに対応。

転ばぬ先のテクニカル

ボックス放れの兆候

先週の当欄では、「２８日の変化日に注目」、「１万９１００円～５００円のボックスを放れた方向につくのがセオリー」としましたが、変化日前日の２７日に１万８９９５円のザラ場安値を示現し、終値は１万９１０７円とボックス下限まで戻す「たくり足」でボトム形成後、３月２日には１万９６６８円高値まで上昇し、ボックス放れの兆候を現してきました。

大引けベースで年初来高値を更新してくれば、相場は上方転換したと判断されます。そのケースでは一昨年１２月高値の２万００１２円が最初のターゲットです。そしてここもブレイクできれば買戻しの動きが活発化し、短期で２万０９５２円高値を目指すことになりましょう。

日々勇太朗

相場展望

もみ合い突破の条件は？

NYダウ30年ぶり12連騰

国際テクニカルアナリスト
武蔵　宗久 氏

NYダウは1987年1月以来、30年ぶりに12連騰し、史上最高値を連日更新している。

当時を振り返ってみると、NYダウは1月2日の1927ドルから連騰し2104ドルまで約9％上昇した。その後、8月25日の2722ドルまで上昇相場は続き、年初からの上昇率は約41％であった。そして世界の金融市場を大混乱に落とし入れた「ブラック・マンデー」が10月19日に発生し、NYダウは一日で508ドル下落した。約23％の下落率であった。

1987年当時の日経平均は、1月5日の1万8820円から強気相場が続き、東京市場が初めて2万円の大台に乗せたのが1月30日であった。その後も上昇相場を続け、10月14日に2万6646円まで上昇した。年初からの上昇率は約41％であった。

そしてNY市場のブラック・マンデー翌日、日経平均は一日で3836円急落した。下落率は約15％であった。「歴史は繰り返される」可能性を考慮した場合、今年の後半の世界の株式市場に、特段の注意を払う必要がある。

NYダウが最高値を更新し続けているにも関わらず、日経平均は昨年12月半ば以降、1万9000円から1万9500円のレンジ相場を続けている。約50日以上に及ぶ「もみ合い相場」を、いつ突破するのかを注目している。

今年1月4日の1万9594円を終値で突破すれば、2015年の高値2万0868円を目指すことになる。

今週の動意銘柄

任天堂は反発

「Switch」発売を材料視

3日、**任天堂**（7974）が反発。この日から新型ゲーム機「Nintendo Switch」が発売されたことが材料視された。本体を持ち出して携帯ゲーム機のように自由な場所、自由な姿勢でゲームを楽しむことが特徴で、従来のゲーム機の概念を変える仕様に今後の普及動向が注視される。

ACCESSストップ高

3日、**ACCESS**（4813）がストップ高。この日、「NetFront Browser NX」が、任天堂の新型ビデオゲーム機「Nintendo Switch」に採用されたと発表したことが材料視された。NetFront Browser NXは、独自技術により、メモリ使用効率を向上させたWebKitベースのブラウザコンポーネント。

任天堂と事業連携する**イマジカ・ロボットホールディングス**（6879）や**ハピネット**（7552）も買われた。

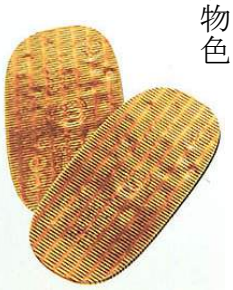
正直じいさんの大判小判

幕間つなぎで中小型株

3日大引けの日経平均は前日比95円安の1万9469円で引けました。昨夜のNY株が112ドル安で、前日までの上げ幅を考慮すれば日本株もNY株も妥当な動きですが、1ドル114円を超えたことも、したことの上値を重くしています。来週末にはメジャーSQを控えているうえ、その先には欧州懸念がくすぶっています。

日経平均は1万9400円台と累計出来高の多い抵抗ゾーンのど真ん中にあり、新たな手掛かり材料がでるまでは上値が重い状況が続きそうです。ただ、ジャスダック、マザーズ、2部指数が続伸しているのは、相場に先高感がある証拠であり、引き続き幕間つなぎに中小型株の個別物色が続くでしょう。

ヨコオ（6800）、**ローチェ**（6323）は噴き上げ局面近く、押し目狙い。**花咲 翁**



チャートから読む騰落銘柄

OKK（6205）

１２０円台でのもみ合いが続いているが、２月２３日にザラ場で付けた昨年来高値１３２円を窺う展開になっている。これを抜ければ１５０円抜けから１５年６月２４日付けた高値２０２円更新も現実味が増す。

ヨコオ（6800）

大勢上昇基調のなか、好業績、好需給を手がかりに高値保ち合いを上放れ新値街道へ。５日移動平均と日足一目均衡表転換線を下値支持ラインに鋭角的な上昇に転じており、株価噴き上げ局面近い。

イトーヨーギョー（5287）

１月２６日に１１５４円まで上昇した後は目立たぬながらジリジリと下げ続ける展開。昨年１２月３０日の安値９９２円を下回れば、１１月９日の安値８６０円までフシはない。

日本空港ビル（9706）

戻り試すが２５日移動平均と日足一目均衡表基準線に押し返され上値は重い。週足も再び陰転の方向で大勢下落トレンド確認すれば、下値を切り下げ昨年２月につけた安値３３６０円を試す展開も。

※チャートは日足

今週の活躍期待銘柄

サイバネットシステム（4312）

今12月期は36％営業増益

サイバネットシステム（4312）の株価は2月21日に847円の高値を付けた後に調整していたが、25日移動平均線である740円手前で下げ止まる動き。好実態からリバウンドの動きを期待したい。

富士ソフト傘下で設計用CAEソフトを主力に事業を展開。ものづくり現場で従来の3D CAE技術と概念設計の1D CAE技術を融合してトータルで設計開発工程の効率化を図る動きが活発化するなかで、様々な領域にまたがる複合・統合ソリューションを提案。今17年12月期は通期連結営業利益で14億円（前期比36・2％増）と2ケタ増益を見込む。ADAS（先進運転支援システム）では様々な光学デバイスが必要となるなかで、これに対応するシミュレーションソフトウェアを提供、自動運転関連としても注目される。（と）

自動運転関連としても期待

安川電機（6506）

自動化技術で業容変貌へ

安川電機（6506）は高値保ち合いを上放れ、再び青空相場に躍り出た。

17年3月期は連結営業利益310億円（前期比15・6％減）と2ケタ減益ながら期初計画を上回る見込み。現在推進中の中期計画「Dash25」では世界トップをいくモーションコントロールとロボット、システムエンジニアリングのコア事業領域を強化するとともに、自動化技術を基点に新しい事業領域を開拓、19年3月期に営業利益450億円（今期予想比45・2％増）を目指すとともに、ROE13％以上、配当性向は27％に引き上げる方針で、利益還元への期待も強い。

来期以降の業容変貌期観測に加え、信用倍率は0・50％、貸借倍率も0・16％とともに大幅な売り超過、貸株超過となっており、買戻しも株価を押上げていく。（先）

営業利益45％増を目指す

※チャートは日足

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活！

高野恭壽（たかのやすひさ）**氏**　1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめＴＶ、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

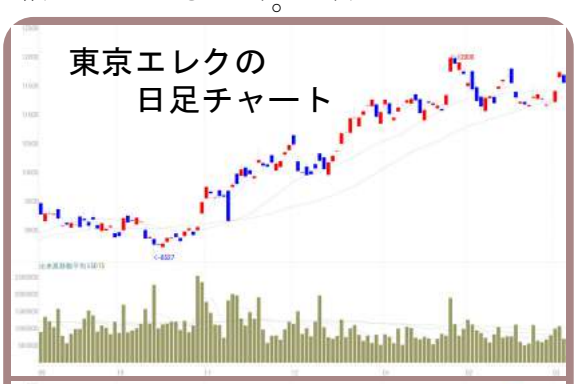
本格的な上げはSQ後

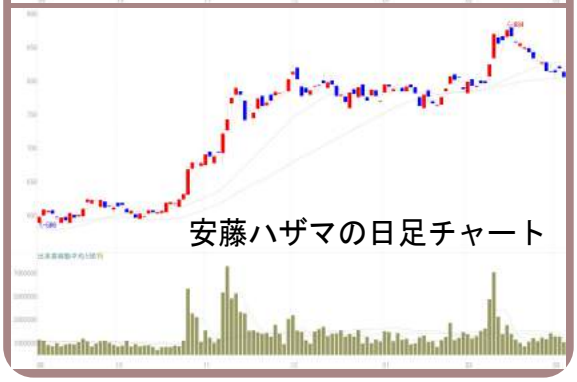
輸出株は押し目、ゼネコンも

予想通りに日経平均は１万９５００円を突破し、今年の高値をも更新する展開になりました。しかし、輸出系で自動車、電機、金融、などの多くの銘柄は高く寄り付いた後は上げ幅を縮小する動きが目立ちました。個別銘柄では高値圏での戻り待ちが多いことや、来週に控える先物のメジャーＳＱの解消売りによる影響が出始めたことが影響していると考えられます。日経平均は高値更新したことで先行きに関しては明るさが見えることは確実なのですが、本格的な上げはＳＱ通過待ちではないかとみています。したがって、これからのもたつきは１～２月のもたつきとは別もので狙った銘柄の押し目を拾う姿勢を貫くことで最終的には良い結果を得られるでしょう。

推奨しています**東京エレクトロン**（８０３５）は値を消す銘柄が目立つ中で超然と高値近辺で引けています。１万２０００円台が見えてきたといえるでしょう。その他、**ソニー**（６７５８）、**パナソニック**（６７５２）などは押し目場面を見せた後に上値をとってくるものとみています。**日本水産**（１３３２）ですが、微妙な引け方をしました。戻しましたが、今後、上値が重ければ手放すことを断行すべきでしょう。

レンゴー（３９４１）はまだ本格的な上げには至りませんが、増額修正は確実であり、時間をかけて上値を追うものとみています。**三菱重工業**（７７０１）、**川崎重工業**（７０１２）は持続作戦でいいでしょう。もちろん、押し目があれば拾うことです。小物で勧めていました**トレックス・セミコンダクター**（６６１６）も２０００円に王手がかかりました。また、ゼネコンも派手な戻り方をしていませんが、ジワリと上値を窺っていますので、**安藤ハザマ**（１７１９）に挑戦する必要がでてきました。**大成建設**（１８０１）も同様です。





高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報これでどや！！
http://www.kabu-takano.com/
毎日情報を配信中！

星野三太郎の株街往来

～疲弊極める配送業者～

2月の株式市場の話題といえば、東芝の動向、森永製菓と森永乳業の経営統合に加えて、ヤマト運輸における荷物扱い量の抑制だろう。宅配業者で実際に配達に携わっている方の労働環境が過酷であることは、様々なメディアで伝えられているが、筆者の自宅に毎度届けてくれる配送業者の方も、深夜に近所のスーパーで休憩している姿をよく見かける。携帯電話に着信があると即、配送車を動かすので、留守から帰宅するまで近隣で待機しているのだなと感じた。最近では当日配達を行うネット通販も増えているが、利便性を高めた犠牲が配達員の方々に来ている。自動運転やドローンで無人配達なんてことも話題になったときもあるが、現実化するにはハードルが高い。過酷な労働環境が話題になると新たな人材も集まり難くなるから、今回のヤマト運輸のように大胆な決断を行う企業が増えるかも知れない。

最近では食料品を含めてあらゆるものがネット通販で購入できるが、お米とかは商品を受け取って炊き上げて見ると想像以下のヒドイ味だったケースもあるそうだ。消費者には実店舗で買えるものと、そうでないものとの使い分けも必要だろう。

企業レター

乗ビール列車を運行

近鉄ＧＨＤ

3月23日、観光列車「つどい」で

近鉄グループホールディングス（９０４１）傘下の近畿日本鉄道は観光列車「つどい」による乗ビール列車を３月23日に実施する。観光列車「つどい」は土、日、祝日を基本に伊勢志摩で運行している観光用の列車で、座席は全席外向きに配列、伊勢志摩に観光で訪れる方が楽しめる車両となっている。

今回のツアーは、観光列車「つどい」の車内で、「キリン一番搾り」を飲み放題で楽しみながら、普段は運行しない大阪上本町駅から橿原神宮前駅、大和西大寺駅を経由して大阪上本町駅まで戻ってくる約２時間30分（飲み放題の時間は約２時間）のコースになっている。ソフトドリンクやおつまみの持ち込みは可能で、大阪上本町駅下車で３９８０円、近鉄各駅営業所で販売を行っている。

New product

新発売＆リニューアル

マンダム

「マンダム ハッピーデオシリーズ」

ハッピーデオ　デオドラントミスト

マンダム（４９１７）は、ディズニーキャラクター“ミニーマウス”＆“デイジーダック”をパッケージにし、日常をハッピーな気分に変えてくれるエチケットシリーズ「マンダム　ハッピーデオ」を２月２０日に新発売＆リニューアル（ミストシリーズのみ３月１３日新発売）した。

じんわり汗とニオイを瞬時に解消する「デオドラントミスト」、肌にとどまる密着処方で制汗成分が汗をブロックする「デオドラントロールオン」が新たに発売。「ボディシート」は、約１０個に１個が秘密のハッピーメッセージ付きとなっている。「ロングラスティング香料」をシリーズ共通で採用している。

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

2万円チャレンジなるか！

買い仕掛けあるなら週中頃？

NY市場が24日間で100ドル上昇し、ドイツのDAX指数やフランスのCAC40などは高値を更新してきてる。

世界的に株式市場は活況となっているが日経平均だけ動きが鈍い。2日に1万9668円まで上昇し一時戻り高値を更新したが、引けでは売られる展開、引値ベースでの高値更新とはならなかった。

NYダウが高値圏で約300ドル上昇したので、日本株も高値更新と期待したが続かなかった。しかし、ジャスダック指数が16連騰、マザーズ指数が10連騰し高値をとってきており、小型株市場は絶好調である。資金は新しい成長期待株に流入しているようである。

今週はメジャーSQの週である。来週になるとFOMCやオランダの大統領選挙など重要イベントが控えており仕掛けにくい環境となる。

FOMCでは3月利上げの可能性も高まっているため、円安に振れやすい状況である。この円安を材料にSQに向けてのヘッジ買いを誘発するような展開になれば2万円台も可能だと思われる。

現在ボリンジャーバンドの＋2σは1万9643円処、＋2・5σで1万9748円処。バンド自体は拡大基調であるため買いの仕掛けがあるとすれば週中頃の可能性が高い。

一方、意識される下値は窓埋めの1万9414円、上昇傾向にある5日線（1万9345円処）がポイントになってくる。

テクニカル的には買いスタンス継続の指標が多く今週こそはと期待する週である。このチャンスを逃すと日経平均は再びボックス相場入りすると思われる。今後の相場を見る上でも重要な週となろう。（ハチロク）

日経225先物日足チャート

今週のスケジュール

- ７日　米１月貿易収支（22:30）
- ８日　10-12月期GDP改定値、１月国際収支（8:50）
  １月景気動向指数（14:00）
  中国２月貿易収支
  米２月ADP雇用統計（22:15）
- ９日　２月マネーストック（8:50）
  １月毎月勤労統計調査（9:00）
  ２月都心オフィス空室率（11:00）
  中国２月消費者物価、中国２月生産者物価（10:30）
  ECB定例理事会（ドラギ総裁会見）
  EU首脳会議（～10日）
  米２月輸入物価」（22:30）
- 10日　1-3月期法人企業景気予測調査、２月国内企業物価指数（8:50）
  メジャーSQ算出日
  米２月雇用統計（8:50）
  米２月財政収支（11日4:00）

編集後記

♪裏の畑でポチが鳴く～正直じいさん掘ったなら～♪ということで、新コーナー「正直じいさんの大判小判」がスタートした。三割高下を狙え！花咲氏は目先の１割を取りにいくなどケチなことはしない。格言通り上にも下にも３割以上、２倍、５倍、あるいは半値、半値８掛け５割引銘柄を探す。大きく値幅を狙う一方、早い見切りが信条で、勝率にこだわることなく、投資成果を追及していく。

ガレキもあるが大判、小判を掘り当てる正直じいさんとポチの銘柄発掘に乞うご期待。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信憑性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。